

1-1 (一社) 佐賀県水泳連盟 (競泳・OWS)

項目		内容
選考方法		競泳・オープンウォータースイミング (OWS) は、当該年度の「佐賀県選手権水泳競技大会」で行う。
選考基準		競泳の個人種目は、日本水泳連盟が定める標準タイム。 競泳のリレー種目は、入賞を目指して出場する。 オープンウォータースイミング (OWS) は、日本水泳連盟が定める第79回国民スポーツ大会OWS競技要項に準ずる。
選考の内容		【競泳】個人種目は、佐賀県選手権水泳競技大会出場種目から、当該年度4月1日～7月中の長水路タイムが、日本水泳連盟が定める標準タイムを突破している一番速い者を選出する。リレー種目は、別途考慮する。 【オープンウォータースイミング (OWS) 】日本水泳連盟が定める第78回国民スポーツ大会OWS競技要項に準ずる。
問合せ先	名称	佐賀県水泳連盟
	担当者名	沖田祥章

1-2 (一社) 佐賀県水泳連盟 (水球)

項目		内容
選考方法		一次選考：少年男子8名、女子3名を強化指定候補選手として、水球強化担当部会にて選出。 二次選考：少年男子8名、女子3名を国スポ候補選手として、水球強化担当部会にて選出。 最終選考：滋賀国スポ候補選手について、少年男子8名、女子3名を (一社) 佐賀県水泳連盟にて選出
選考基準		候補選手の選考については、水球競技強化担当部会において、1月から4月に実施した合同練習会への取り組みを基本に泳力や戦術理解力及び、練習試合等で応用力等を見極めて国スポ候補選手を選出した。
選考の内容		一次選考：1月から2月にかけて実施した合同練習会にて選考 二次選考：3月から4月にかけて実施した合同練習会にて選考 最終選考：二次選考までの結果をもとに (一社) 佐賀県水泳連盟にて選考
その他		選考対象選手は、当該年度 (公財) 日本水泳連盟に選手登録が完了した者であること。
問合せ先	名称	(一社) 佐賀県水泳連盟 水球担当
	担当者名	濱野 文一

1-3 (一社) 佐賀県水泳連盟 (飛込)

項目	内 容	
選考方法	飛込は、各都道府県水泳連盟（協会）が次の当該年度競技会において、(公財)日本水泳連盟の定める標準点を突破した者を代表選手として選考し、(公財)日本水泳連盟に予備エントリーをすることができる。また、予備エントリーをした都道府県には1名の出場枠を与える。予備エントリー完了後、(公財)日本水泳連盟が各都道府県の予備エントリーを集計し、本大会出場人数を決定する。	
選考基準	国スポ予備エントリーの結果をもとに、国民スポーツ大会において上位入賞が期待できる選手を選考する。	
選考の内容	各都道府県水泳連盟（協会）が次の当該年度競技会において、(公財)日本水泳連盟の定める標準点を突破した者を代表選手として選考し、(公財)日本水泳連盟に予備エントリーをする。 1) 成年の部対象競技会 ① 関東選手権 ② 関西選手権 2) 少年の部対象競技会 ① 地域高等学校選手権 ② 全国JOCジュニアオリンピックカップ地域別予選会 予備エントリー完了後、(公財)日本水泳連盟が各都道府県の予備エントリーを集計し、本大会出場選手数を決定し、各加盟団体へ通知する。	
問合せ先	名称	一般社団法人佐賀県水泳連盟
	担当者名	原口進也

2 佐賀県ローイング協会

項目	内 容	
選考方法	一次選考：各種別、滋賀国スポ出場意志がある選手を、強化指定選手に強化部より指名 二次選考：各種別15名を国スポ候補選手として強化部より指名 最終選考：滋賀国スポ選手各種別9名を佐賀県ローイング協会より指名	
選考基準	強化練習、選考レース、前年度・該当年度の大会成績、ローイングマシンのタイム等、総合的に勘案し、九州ブロック大会で権利獲得を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：選考方法・その他の基準を満たしている者に対し、各所属団体において参加意志確認を行い選考 二次選考：6月末に行う選考レースにて選考 最終選考：6～7月までの期間に強化練習会・シートレースを実施し選考	
その他	参加者は佐賀県ローイング協会の会員であること。 県外選手は、ふるさと選手に該当する者。 所属団体において、継続的に練習を行っている者。 国スポ出場選手に指名された者は、日本ローイング協会の選手登録を行うこと。	
問合せ先	名称	佐賀県ローイング協会 強化部
	担当者名	齋藤 拓馬

3 (NPO法人) 佐賀県ヨット連盟

項目	内容
選考方法	<p>成年：一次選考：男女各相当数を選手強化部より指名 最終選考：当該国スポに男女各4名をNPO法人佐賀県ヨット連盟より指名 少年一次選考：男女各相当数を強化選手として選手強化部より指名 最終選考：当該国スポに男女各3名をNPO法人佐賀県ヨット連盟より指名</p>
選考基準	強化練習、全九州規模以上の大会成績等、総合的に勘案し、本国スポで上位入賞を期待出来る選手且つ、強い意志を持って大会に挑む選手を選考
選考の内容	<p>一次選考：3月～4月出場意志・強化活動内容の周知を行いその内容を承諾。 6月末までの大会成績を基に個人ポイントを付ける。 最終選考：6月から7月までの期間に予選会（指定大会を含む）を実施しポイントを該当者に付与する。個人ポイントの得点上位者より艇種及びポジションを考慮し最終選考とする。 大会成績でのポイント付与については、各大会以前に該当者へ周知する。</p>
その他	参加者は、日本セーリング連盟及びNPO法人佐賀県ヨット連盟の会員登録を行っていること。
問合せ先	名称 NPO法人 佐賀県ヨット連盟 選手強化部
	担当者名 中山 英弘

4 (一財) 佐賀陸上競技協会

項目	内容
選考方法	<p>○県記録会、県陸上競技選手権、国スポ選考会での3大会より、各種目男女2名程度を強化選手とし強化部より指名する。 ○令和7年の九州大会、全国大会等の実績を考慮し強化選手とし強化部より指名する。 ○国スポで設定されている種目から29名を選出し強化部より指名する。</p>
選考基準	強化練習、県記録会、県陸上選手権、国スポ選考会の大会成績等、総合的に勘案し、国スポで入賞を期待できる選手を選考。
選考の内容	<p>一次選考：県記録会、県陸上選手権大会の内容を基に選考 二次選考：国スポ選考会の内容を基に選考 最終選考：一次・二次選考と九州大会以上の実績を考慮し選考</p>
その他	<p>佐賀陸上競技協会の会員であること。 また、ふるさと登録を佐賀にてしていること。</p>
問合せ先	名称 佐賀陸上競技協会
	担当者名 丸小野仁之

5 (一社) 佐賀県サッカー協会

項目	内容				
選考方法	<p>①少年男子・②少年女子チームの選考：基盤としてサッカー協会独自で取り組んでいる「トレセン制度（U11～U16まで段階的な選抜選手による強化練習会）」を経てきたU15選抜選手及び佐賀県へ転入してきた有望選手を4月から8月上旬まで強化練習会・選考会を実施し、国スポスタッフ5名（監督、ヘッドコーチ、コーチ、GKコーチ、主務）が推薦する。</p> <p>③成年男子チームの選考：5月～7月にかけて毎週1回（月4回程度）の選考会を実施し、国スポスタッフ5名（同上）が推薦する。</p> <p>○選考決定 技術委員会（委員長、副委員長、国スポスタッフ各5名ずつ）を開催し上記①②③からの推薦者について、協議・選定して、サッカー協会会長へ推薦する。 サッカー協会会長が（常務理事会を開催し）最終的に承認し認定する</p>				
選考基準	<p>・選考の基準とするチェックシート（4段階評価、A監督の目標とするチーム戦術理解度、B技術、C体力、D個人戦術、Eサッカーの理解度）を選考スタッフが選手個別に評価する。</p> <p>・県大会、選考会、U16九州トレセン大会（少年男子・少年女子）の成績等、総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考</p>				
選考の内容	<p>国スポスタッフが考えるゲームモデルを念頭に、個々の特徴を勘案し、国スポスタッフ全員で選定している。</p> <p>①少年男子 一次選考：4月に3回選考会、U16九州トレセン大会内容を基に選考 二次選考：U16九州トレセン大会内容を基に選考 最終選考：7月に強化練習会・選考会を2回実施</p> <p>②少年女子 一次選考：4月に2回選考会、U16九州トレセン大会内容を基に選考 二次選考：5月から6月の期間に強化練習会を数回実施 最終選考：7月に強化遠征と強化合宿を行い選考</p> <p>③成年男子 5月～7月にかけて毎週1回の選考会を実施。基本的にゲーム形式で、各ハーフ毎に状況によるタスクを選手に与え、そのパフォーマンスの発揮状況で選考する</p>				
その他	<p>・選考チェックシートを活用（4段階評価） 選考時に「A:監督の目標とするチーム戦術理解度」、「B:技術」、「C:体力」、「D:個人戦術」、「E:サッカーの理解度」「F:個人の特徴」の6つの項目でのチェックシート</p>				
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="240 1928 339 1975">名称</td> <td data-bbox="339 1928 1449 1975">佐賀県サッカー協会事務局</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 1975 339 2018">担当者名</td> <td data-bbox="339 1975 1449 2018">中西 順也</td> </tr> </table>	名称	佐賀県サッカー協会事務局	担当者名	中西 順也
名称	佐賀県サッカー協会事務局				
担当者名	中西 順也				

6 佐賀県テニス協会

項目	内 容	
選考方法	一次予選と二次予選を行い決定する	
選考基準	一次予選はオープンで募集し、上位2名が2次予選に進める	2次予選は前年度国スポ出場者及びインカレ出場者を加え、一次予選を通過した2名で行い、上位2名を選考する
選考の内容	一次予選：4月中に行う 二次予選：5月中に行う	
その他	参加資格は佐賀県の中学校・高校を卒業した者 就職などで佐賀県に在住している者	
問合せ先	名称	佐賀県テニス協会 事務局
	担当者名	小島 和文

7 佐賀県ホッケー協会

項目	内 容	
選考方法	少年男女 監督・コーチが強化選手選出を行い、ヘッドコーチの承認後決定 成年男女 監督・コーチ・キャプテンが強化選手選出を行い、ヘッドコーチの承認後決定	
選考基準	全種別 強化練習、各種大会での活躍等、総合的に勘案し、国スポ本大会及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	4月から7月までの期間における強化練習会及び所属チームでの活動内容を基に選考	
その他	参加者は佐賀県ホッケー協会の会員、またはふるさと選手であること。また、日本ホッケー協会登録費を完納していること	
問合せ先	名称	佐賀県ホッケー協会事務局
	担当者名	事務局長：金井田幸樹

8 佐賀県ボクシング協会

項目	内容
選考方法	一次選考：少年男子16名・成年男子8名・成年女子2名を強化選手として、強化部より指名 二次選考：上記強化指定選手にて選考スパーリングを行い各階級優勝者を決定 最終選考：強化部で選考会を開き出場階級5階級のメンバーを決定
選考基準	強化練習、佐賀県選考会・各種大会成績等総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考
選考の内容	一次選考：佐賀県選考会及びモンスターカップの内容を基準に選考 二次選考：7月に選考スパーリングを実施 最終選考：最終スパーリングの結果をもとに強化委員会で決定
その他	・佐賀県ボクシング連盟の会員であること ・当該年度日本ボクシング連盟に選手登録していること
問合せ先	名称 佐賀県ボクシング連盟事務局
	担当者名 前田 真一

9 佐賀県バレーボール協会

項目	内容
選考方法	チーム構成・候補選手は佐賀県バレーボール協会強化委員会（以下、強化委員会）が選考内容に沿う総合的な判断により選考し、その選出案を佐賀県バレーボール協会常任理事会（以下、常任理事会）で審議し決定する。
選考基準	選考内容にしたがい総合的に判断し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考する。
選考の内容	・6人制少年男女の部 候補選手の選考は、主要大会における実績を基に強化委員会の総合的な判断により選考し、選出案とする。 ・6人制成年男女の部 佐賀県在住者からの選抜選手及びふるさと選手の中から有望な選手とする。 ・ビーチバレーボールの部 次の選考を以って強化委員会が総合的な判断により選考する。 ①一次選考：候補選手選考会を基に候補選手を10名程度選考する。 ②二次選考：候補選手に対して合同練習会を実施し、選考する。
その他	主要大会 ○新人大会 ○全九州総合選手権大会佐賀県予選会 ○佐賀県高校総合体育大会 ○全日本高等学校選手権大会（春高バレー）佐賀県大会 ○国スポ予選会
問合せ先	名称 佐賀県バレーボール協会事務局
	担当者名 江頭 辰弥

10 佐賀県体操協会

項目	内容	
選考方法	一次選考：本県体操協会主催国スポ予選会により上位より指名 二次選考：それぞれの強化部より国スポ候補選手として指名 最終選考：国スポ代表選手を佐賀県体操協会より指名	
選考基準	強化練習、国スポ予選会の成績等、総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：国スポ予選会の内容を基に選考。 （新体操5／5・6、体操6／1） 二次選考：それぞれの強化部により強化練習会を実施し選考。 最終選考：常任理事会により選手を選考。	
その他	参加者は佐賀県体操協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県体操協会事務局
	担当者名	坂井 欣吾

11 (一社) 佐賀県バスケットボール協会

項目	内容	
選考方法	【成年】 1次選考；春季一般大会・強化練習会にて強化選手を選考 2次選考：強化練習会・強化合宿においてエントリー選手を監督・スタッフにおいて指名・県協会理事会にて承認後に決定	
	【少年】 第一次選考 20名～30名程度 トライアウト方式 第二次選考 一次選考後、強化練習会、強化試合、強化遠征等でエントリー選手及び予備登録選手を決定	
選考基準	【成年男子】 ・週2～3回の強化練習会への参加 ・選手個人の意欲、積極的な強化練習会や強化合宿への参加 ・戦術面の理解とチームへの貢献度と的確な判断力を有する選手 ・技術面・身体面において国スポで戦える選手かを判断する ・滋賀国スポへの強い意欲があるもの	
	【成年女子】 ・各種別の開催するトライアウトもしくは強化練習会への参加 ・ふるさと選手に関して、現状の所属チームにおいての実績と選手個人の意欲、強化練習会や強化合宿などのへの参加後に選考 ・その他、随時選考の機会は可能な限り期間内に設ける ・滋賀国スポへの強い意欲があるもの	
	【少年男子】 1 国スポへの意欲・意思 2 プレースタイル ・コンタクトを好む ・1対1で戦うことを好む 3 ファンダメンタルズ ・基本技術の実戦での実践力（フットワーク、パッシング、ドリブル、シュート力、リバウンディング）・オフェンス、ディフェンスのスペーシングの理解 4 運動能力・クイックネス能力・スプリント・ジャンプ力 5 その他・特殊な能力（シュート力、リバウンド力、リーダーシップなど）	

		<p>【少年女子】</p> <p>1、国スポへの意欲・関心・態度 ① 取り組む姿勢②ハッスル③コミュニケーション能力</p> <p>2、身体的能力 ①サイズ感②スピード③パワー④クイックネス⑤ストップ</p> <p>3、技術的能力 ①シュート力②パスの強さと正確さ③リバウンド④対人防御⑤プレイの巧みさ</p> <p>4、判断力 ①プレイの選択②オフボール時の動き→スペーシング（合わせ）③DFカバーリング</p>
選考の内容		<p>【成年男子】</p> <p>・7月中旬までの強化練習会、強化試合において随時選考する。</p>
		<p>【成年女子】</p> <p>選考練習会・選考試合の実施</p> <p>1次選考：強化練習会・強化合宿を実施（15名程度）</p> <p>2次選考：強化練習会・強化練習試合において最終選考</p>
		<p>【少年男子】</p> <p>体力測定、スキルテスト（ドリブル、パス、シュート）、対人技能、scrimmage等</p>
		<p>【少年女子】</p> <p>身体能力テスト</p> <p>20mスプリント、ボックスアジリティ、3往復×3ダッシュ、ロングチェストパス、ハーフコート、1on1、フリースロー、リング下シュート、ジャンプシュート、セットシュート、3on3ラリー、5on5</p>
問合せ先	名称	（一社）佐賀県バスケットボール協会
	担当者名	中村洋介

12 佐賀県レスリング協会

項目	内 容	
選考方法	<p>一次選考：佐賀県強化選手の中から、佐賀県国スポ候補選手として、強化委員会より指定。</p> <p>二次選考：国スポ候補選手の中から、各大会の成績等を考慮し、強化委員会より指定。</p> <p>最終選考：国スポ選手成年5名、少年6名、女子1名を強化委員会より指名。</p>	
選考基準	強化練習、各大会の成績等を総合的に勘案し、上位入賞を期待できる選手を選考。	
選考の内容	<p>一次選考：過去の実績等をもとに強化委員会の協議にて選考。</p> <p>二次選考：各大会の成績等を見て強化委員会の協議で選考。</p> <p>最終選考：県強化委員会が開催する強化練習会に参加する。</p>	
問合せ先	名称	佐賀県レスリング協会 事務局
	担当者名	田代大貴

13 佐賀県ウエイトリフティング協会

項目	内容	
選考方法	より多くの点数（競技得点）を獲得する見込みのある選手を選考する。	
選考基準	成年男子：過去の国スポ（国スポ）の結果と比較し、より多くの点数を獲得する見込みのある選手の順に選考する。 少年男子：過去の国スポ（国スポ）の結果と比較し、より多くの点数を獲得する見込みのある選手の順に選考する。 女子：各都道府県大会の成績を集計し、各階級上位15名に出場権が与えられる。	
選考の内容	成年男子：前年度の国スポ及び全日本社会人大会、当該年度の県春季大会及び全日本選手権大会の記録を選考基準の対象とする。 少年男子：当該年度の国スポ予選会及び全国高校総体の記録を選考基準の対象とする。 女子：上記、選考基準のとおり。	
その他	佐賀県ウエイトリフティング協会の会員であること。	
問合せ先	名称	佐賀県ウエイトリフティング協会
	担当者名	園田 文明

14 佐賀県ハンドボール協会

項目	内容	
選考方法	【少年男子・少年女子】 【成年男子・成年女子】 一次選考：男子・女子各30名を強化選手として強化部・高体連より選出 二次選考：男子・女子各16名を国スポ強化選手として強化部・高体連より選出。 最終選考会の実施 （6月28日の半日練習を行い、強化部長、高体連部長等6名で協議・選出してもらう） ※一次選考については今後の将来性を含め中学部にも選手選考の幅を広げ進めていく。一次選考の対象選手を増やして次世代の育成も進めていく。	
選考基準	強化練習会/対象試合での内容を基に強化部部长・高体連部長及び監督・コーチより選手選出	
選考の内容	一次選考：新人戦、選抜大会、春季大会及び強化練習会の内容を基に選考。（強化部長・高体連部長等の投票によって選出） 二次選考：高校総体の内容を基に選手選考。（強化部長・高体連部長等の協議によって選出） 最終選考：選考会を設けて男女6名の選考委員によって12名への絞り込みを行う。	
その他	参加者は佐賀県ハンドボール協会の会員であること。 また、該当年度の協会登録費用を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県ハンドボール協会
	担当者名	橋本 祐一

15 佐賀県自転車競技連盟

項目	内容																
選考方法	<p>佐賀県自転車競技連盟（以下、県車連）が指定する以下のタイムを一つ以上記録した選手を選考対象とする。</p> <table border="1" data-bbox="363 248 1295 383"> <thead> <tr> <th></th> <th>200m</th> <th>1km</th> <th>3km・4km</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子A</td> <td>10秒999以内</td> <td>1分07秒999以内</td> <td>4分49秒999以内 (4km)</td> </tr> <tr> <td>男子B</td> <td>11秒999以内</td> <td>1分12秒999以内</td> <td>3分51秒999以内 (3km)</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>13秒199以内</td> <td>1分21秒999以内</td> <td>4分15秒999以内 (3km)</td> </tr> </tbody> </table> <p>申告方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年の国民スポーツ大会（以下、国スポ）以降の公式大会のリザルト ・県車連の記録会、強化練習会でのタイム測定選考対象者を県車連の理事会で審議し、各カテゴリー－3名ずつ指名する。 <p>最終選考</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州自転車競技選手権大会後に、選考対象者を県車連の理事会で審議し、各カテゴリー－3名ずつ指名する。 		200m	1km	3km・4km	男子A	10秒999以内	1分07秒999以内	4分49秒999以内 (4km)	男子B	11秒999以内	1分12秒999以内	3分51秒999以内 (3km)	女子	13秒199以内	1分21秒999以内	4分15秒999以内 (3km)
	200m	1km	3km・4km														
男子A	10秒999以内	1分07秒999以内	4分49秒999以内 (4km)														
男子B	11秒999以内	1分12秒999以内	3分51秒999以内 (3km)														
女子	13秒199以内	1分21秒999以内	4分15秒999以内 (3km)														
選考基準	<p>【男子A】</p> <p>3名参考大会で指定の順位を獲得した者のなかから総合的な判断により選考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トラック <ul style="list-style-type: none"> 8位以内：全日本トラック、ジャパントラック、JICF国際トラック、インカレに準ずる大会 3位以内：TRS、九州選手権大会、東日本・西日本学生選手権に準ずる大会 ・ロード <ul style="list-style-type: none"> 20位以内：全日本選手権（TT含む）、UCI公認レース、インカレに準ずる大会 8位以内：JBCF、チャレンジサイクルロード、RCS（クラス1）に準ずる大会 3位以内：九州選手権大会、RCS(クラス2)、KCS（C1）に準ずる大会 <p>【男子B】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3名定期的におこなう記録会、強化練習会や公式大会などから総合的な判断により選考する。 <p>【女子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3名記録会や公式タイム（200m、1km、3km）から順位付けをおこない、その順位から総合的な判断により選考する。（※例外として、全国規模のロードレースで5位以上の成績を残した者を優先して選考する） 																
選考の内容	<p>○団体及び個人における種目内優先順位</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. トラックレース（団体種目、1kmTT、個人種目）、ロードレースのなかで、より多種目で活躍できる選手を優先して選考する。 2. 団体種目の競技得点が個人種目の3倍のため、団体種目で活躍できる選手を優先して選考する。団体種目は4kmチーム・パーシュートとチーム・スプリントの2種目（女子はチーム・スプリントのみ）があるが、当該年度選手のバランスを考慮してどちらかを優先する。優先された種目で、より活躍が期待できる選手を優先して選考する。 3. 個人種目は、レース展開による順位変動が少ない1kmTT、スプリントで上位入賞が期待できる選手を優先して選考する。そのほかの種目については、過去の成績、国スポ開催時に予想されるパフォーマンスを考慮して、より活躍が期待できる選手を優先して選考する。 																
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県代表選手としての自覚と使命感を持つ者を選考する。代表選手としてふさわしくない行動がみられた場合には、選考基準を満たしていても選考対象から除外する。 ・出場枠が充足しない場合は将来性を考慮し、選考基準を満たさない選手を選考する場合がある。 																
問合せ先	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="240 2007 338 2056">名称</td> <td data-bbox="338 2007 1449 2056">佐賀県自転車競技連盟事務局</td> </tr> <tr> <td data-bbox="240 2056 338 2098">担当者名</td> <td data-bbox="338 2056 1449 2098">浅井正史</td> </tr> </table>	名称	佐賀県自転車競技連盟事務局	担当者名	浅井正史												
名称	佐賀県自転車競技連盟事務局																
担当者名	浅井正史																

16 佐賀県ソフトテニス連盟

項目	内 容	
選考方法	一次選考：成年男子8名、成年女子6名を強化選手として強化部より指名 二次選考：男女各2名を国スポ候補選手として強化部より指名 最終選考：滋賀国スポ選手男女各5名を佐賀県ソフトテニス連盟より指名	
選考基準	・予選会、強化練習、国内大会（世界選手権予選会等）の成績等、総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考 ・当該年度の日本代表選手は選考会免除	
選考の内容	一次選考：前年度の国民スポーツ大会及び選考会の内容を基に選考 二次選考：国スポ一次選考会（成年男子：2月9日、成年女子：4月6日）、二次選考会（成年男子：6月22日、成年女子：6月8日）の結果を基に選考 最終選考：6月下旬に強化練習会を1回実施（成年男子）、8月中旬に強化練習会を2回実施（成年女子）	
問合せ先	名称	佐賀県ソフトテニス連盟
	担当者名	中島哲徳

17 佐賀県卓球協会

項目	内 容	
選考方法	令和7年7月12日（土）鳥栖市民体育館において成年男女、少年男女の選手選考会を行う。 推薦選手：2024年~2025年に日本代表として国際大会出場または全日本選手権および全日本社会人選手権個人戦ランキング保持者については選考会の結果に優先して推薦する。ただし推薦選手は最大3名までとする。	
選考基準	選手選考会結果および前年度、今年度の成績等を考慮して、本国スポや九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を協会にて決定する。	
選考の内容	選手選考会：7月12日（土）鳥栖市民体育館 成年男女：推薦選手が3名選出された場合は選考会の1位を予備登録選手とする。推薦選手が3名に満たない場合は選考会の結果等を考慮し常任理事会において決定する。 少年男女：選手選考会の1位は選手に決定する。残る2名および予備登録選手は選手選考会や前年度、今年度の成績を考慮し常任理事会において決定する。	
その他	推薦者、選考会参加資格者は国民スポーツ大会出場資格者とする。	
問合せ先	名称	佐賀県卓球協会
	担当者名	強化部 寄谷 大輔

18 佐賀県軟式野球連盟

項目	内 容	
選考方法	一次選考会：A級8チーム、支部代表15チームによる国スポ選考会をトーナメント戦で開催する。 二次選考会：選考会の優勝チームを中心に、国スポ強化選手を強化部から指名する。 最終選考：強化練習、遠征・合宿等により滋賀国スポ選手男25名を佐賀県軟式野球連盟より指名	
選考基準	選考会優勝チーム選手、強化練習、遠征・合宿の成績等、総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：選考大会及び選考会の内容を基に選考 二次選考：6月から7月までの期間に強化練習会、遠征等を実施 最終選考：7月から8月までの期間に強化練習会、遠征等を実施	
その他	参加者は、成年男子であること。佐賀県軟式野球連盟に登録している選手であること。	
問合せ先	名称	佐賀県軟式野球連盟
	担当者名	森脇正弘

19-1 佐賀県相撲連盟（成年）

項目	内 容
選考方法	【成年男子】 4月20日（日） 1次予選会 6月15日（日） 最終予選会
選考基準	【成年男子】 4月20日（日） 1次予選：正選手1名決定（1位通過者） ※1次予選参加者を2次予選出場者とする。但し出場の意思がある大学生については、春の大会も考慮し2次予選からの出場を認める。 6月15日（日） 2次予選：正選手2名決定（学生は1枠） ※参加資格 1次予選参加者+学生
選考の内容	【成年男子】 リーグ戦とする。 ※特例 社会人及び大学生で、5月31日までの全国大会の個人戦でベスト4以上の成績を残した選手は予選会を免除とし、2025年わたSHIGA輝く国スポの正選手とする
その他	【成年男子】 ※合同稽古等に関する全ての調整は、成年監督にて行う。 ※強化合同練習会等に、真にやむを得ない理由（冠婚葬祭等）で欠席となる場合は、速やかに成年監督へ連絡すること。
問合せ先	名称 佐賀県相撲連盟
	担当者名 監督 西 祐輔

19-2 佐賀県相撲連盟（少年）

項目	内 容
選考方法	【少年男子】 6月15日（日） 最終予選会
選考基準	【少年男子】 上位5名を団体戦の正選手 6位、7位を交代選手とする。
選考の内容	【少年男子】 6月15日（日） リーグ戦とする ※基本は予選会での結果を基本とするが、強化合同練習会（少年の部単独開催も含む）参加状況なども考慮する事とする。
その他	【少年男子】 ※最終予選会まで、その後国スポ正選手になった者は、必ず計画された稽古に参加すること。少年監督より強化合同練習会及び出稽古等のスケジュールを共有する。
問合せ先	名称 佐賀県相撲連盟
	担当者名 監督 轟木信之介

20 佐賀県馬術連盟

項目	内 容	
選考方法	強化選手の中から、各競技会もしくは練習会のビデオを「国スポ選手選考委員会」に提出し、選考委員会にて滋賀国スポ選手として指名する	
選考基準	少年の障害飛越は110cmを基準とする 成年男子と女子は120cmとする 馬場馬術は国スポ種目に相当する種目の60%以上が基準	
選考の内容	選手選考委員会にてビデオの内容を基に選考 理事会の承認を得て、9月までに強化練習会を実施	
その他	参加者は日本馬術連盟と佐賀県馬術連盟の会員である事 又、当年度の両連盟年会費を完納している事	
問合せ先	名称	佐賀県馬術連盟事務局
	担当者名	今村正道

21 佐賀県柔道協会

項目	内 容	
選考方法	一次選考：男女各階級3～4名を強化選手として強化部会より指名 二次選考：男女各階級2名を国スポ候補選手として強化部会より指名 最終選考：国スポ選手男女各階級1名を佐賀県柔道協会より指名	
選考基準	強化練習会や各種大会及び国スポ選考会等を勘案し、佐賀県代表として国民スポーツ大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	今までの実績や各種大会、国スポ選考会（7月中旬）等を基に選考	
その他	参加者は、佐賀県柔道協会の会員であること また、当該年度の全柔連登録が完了していること	
問合せ先	名称	佐賀県柔道協会事務局
	担当者名	大 屋 隆

22 （一社）佐賀県ソフトボール協会

項目	内 容	
選考方法	成年男子: ダイワアクトを含め、クラブ及び実業団チームより選抜 成年女子: 女子リーグよりふるさと選手、大学生、県内女子チーム選抜 少年男子: 牛津高校 少年女子: 佐賀女子高校	
選考基準	成年男子: クラブ選手権及び実業団選手権の成績により選考 成年女子: 女子リーグよりふるさと選手、大学生、県内女子チーム 少年男子: 牛津高校 少年女子: 佐賀女子高校	
選考の内容	6月中に各チーム監督及び当協会会長、理事長他役員で選考決定する	
問合せ先	名称	（一社）佐賀県ソフトボール協会
	担当者名	諸岡 文男

23 (一社) 佐賀県フェンシング協会

項目	内 容	
選考方法	一次選考：男女各5名以内を強化選手として、強化委員会が指名する。☑ 二次選考：男女各4名を国スポ候補選手として、強化委員会が指名する。☑ 最終選考：滋賀国スポ代表選手（男女各3名）を、佐賀県フェンシング協会理事会で決定する。	
選考基準	令和6年度の戦績を中心に、令和7年度種目（成年男子：フルーレ・サーブル、成年女子：フルーレ・エペ、少年男女：フルーレ）における実績を総合的に勘案し、国民スポーツ大会及び九州ブロック大会において上位入賞が期待される選手を選考する。	
選考の内容	一次選考：令和6年度の戦績を基に選考。 二次選考：令和7年4月～6月の期間中に、選考会を最大2回実施。 少年男子 第1回県予選（4月13日）、大垣選手権大会（5月3日） 最終選考：6月8日（日）に県代表最終予選会を実施予定。 ※成年男子は日程変更の可能性あり	
その他	参加者は佐賀県フェンシング協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	一般社団法人佐賀県フェンシング協会
	担当者名	野本 尚子

24 佐賀県バドミントン協会

項目	内 容	
選考方法	① 国スポ候補者の選出 ② ①の候補者で最終選考	
選考基準	① 国スポ候補者の選出 （1）県外（ふるさと）については佐賀県バドミントン協会が推薦 （2）候補者選出の大会（単・複）においてベスト4以上の者 ② ①の候補者で最終選考	
選考の内容	4月：佐賀県バドミントン協会が推薦するふるさと選手候補者を公表 6月：候補者選出の大会（単・複）においてベスト4以上のものを最終選考の対象者とする。 7月：上記の候補者で強化練習・試合を行い最終選考をおこなう。	
その他	日本バドミントン協会に佐賀県の会員として登録しているものは、候補者選出の大会に出ること。推薦者については、佐賀県バドミントン協会強化部が選手と連絡を取り、大会参加の可能性がある者を推薦する。推薦者については候補者選出の大会要項と同時にホームページに公表する。	
問合せ先	名称	佐賀県バドミントン協会 強化部
	担当者名	森田 広貴

25-1 佐賀県弓道連盟（成年）

項目	内 容	
選考方法	選考会を3回行い、滋賀国スポ選手男女各3名を佐賀県弓道連盟より指名する。	
選考基準	佐賀県代表選手としての自覚を持ち、射形、体配、的中を総合的に鑑み、滋賀国スポにおいて上位入賞を期待できる選手を選考します。	
選考の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・選考会の内容を基に選考する。 ・選考会を5月6日、5月25日、6月15日に3回実施。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する方は佐賀県弓道連盟の会員であること ・強化選手は強化練習及び合宿、遠征等に参加できること 	
問合せ先	名称	佐賀県弓道連盟
	担当者名	石橋 信二

25-2 佐賀県弓道連盟（少年）

項目	内 容	
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> ・遠的記録会（2月～3月） ・選考会（7月13日） 	
選考基準	的中、射形、体配から、本大会で活躍可能な選手を選抜	
選考の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・遠的記録会（2月～3月） ・選考会（7月13日） →遠的・近的競技を実施、 遠的記録会の結果を含め、男女4名ずつ（控え含む） 代表選手を指名	
その他	選考対象は、県内高校生及び各地区の連盟会員高校生であり、原則7月の選考会に参加した者とする	
問合せ先	名称	佐賀県弓道連盟
	担当者名	井手 悠

26 佐賀県ライフル射撃協会

項目	内容	
選考方法	<p>国スポ選手選考委員会は、佐賀県ライフル射撃協会理事会で兼ねる。</p> <p>◇成年の50m10m種目</p> <p>①5, 6月の県選考記録会の成績を基本とするが、不参加の場合（県外在住のふるさと選手も含む）、申請された同時期の大会成績を使って選考する。また、4, 5, 6月の大会での成績も参考にする。また、大会がない場合、理事立ち会いの下、県の射場等で記録をとり利用する。</p> <p>②エントリー選手のいない種目については、他の大会成績等により、委員会で協議し決定する。</p> <p>◇25m種目（CP）①県ラ理事 立ち会いの下、警察内部で記録を取る</p> <p>◇Jr種目 九州高校等の県外大会の成績で選考する。また、SAGAサンライズパーク射場での記録会成績も参考にする。記録は本選記録を基本とするが、大会でのファイナルの成績も参考にする。</p>	
選考基準	<p>○ブロック大会予選通過、本大会で天皇杯得点を多くとることを目指して、該当する記録会や大会の記録をもって選考する。</p> <p>○県選考記録会にエントリーした選手の記録が、前回国スポ当該種目の中間順位の点数より下まわっている場合、エントリーしていない選手も含めて他の大会成績等により、委員会で協議し決定する。</p>	
選考の内容	<p>選考資料にある選考記録会や大会の本選記録（得点）など客観的資料を基に選考委員会において公平に選考する。</p>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・当該年度の日本ライフル射撃協会および佐賀県ライフル射撃協会会員であること ・インテグリティ講習の有効な受講歴があること。 ・選考方法等は、佐賀県ライフル射撃協会の当該年度の総会で報告され、総会后、全会員に総会資料とともに通知される。また、SNS等を使って該当選手・保護者に周知される。 	
問合せ先	名称	佐賀県ライフル射撃協会
	担当者名	高柳 喜人

27 (一社) 佐賀県剣道連盟

項目	内 容	
選考方法	<p>成年の部については令和7年1月26日に令和7年度国スポ剣道競技佐賀県予選会を実施し、先鋒・次鋒・中堅については各2名を候補選手とした。</p> <p>剣道競技においては選手5名中のいずれかの者が、監督公認資格を有する事が規定上定められているが、本年度の予選会エントリー者に資格所有者がいなかったため副将・大将のいずれかで監督資格を有する者を剣道連盟にて推薦する方法をとった。</p> <p>高校生については最初男女各9名を選出し2次選考(6月)最終選考(7月の九州大会までに)を行う</p>	
選考基準	強化練習、県外遠征等を総合的に勘案し、国スポ・九州ブロック大会出上位入賞を期待できる選手を選考する	
選考の内容	<p>成年の部については令和7年1月26日に先鋒・次鋒・中堅については各2名を候補選手とした。副将・大将については剣道コーチ1の資格を有するため剣道連盟にて推薦する方法をとり、大将に資格を持った選手を候補とすることができたので、副将には予選会にエントリーしていた1名を選出した。高校生については最初男女各9名を選出し2次選考(6月)最終選考(7月の九州大会までに)を行う</p>	
その他	参加者は佐賀県剣道連盟の会員であること又、当該年度の協会登録費を納めていること。	
問合せ先	名称	一般社団法人 佐賀県剣道連盟
	担当者名	白石 務

28 佐賀県ラグビーフットボール協会

項目	内 容	
選考方法	<ul style="list-style-type: none"> ・少年は高校総体等で選考をしている。 ・成年、女子は強化委員会で選考をしている。 <p>ふるさと選手については強化委員会より本人への打診とチーム関係者との協議により選考をしている。</p>	
選考基準	<ul style="list-style-type: none"> ・本国民スポーツ大会及び九州ブロック大会で上位入賞が期待できる選手の選考 ・強化委員会が実施する夏の合宿及び強化練習会に参加できること。 ・成年及び女子については、ふるさと選手の活用が必要であるが、個人及びチーム状況等を配慮しながら選考を行っている。 	
選考の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・少年は選考会等の結果により、強化委員会で決定している。 ・成年及び女子等については県内選手だけでのチーム編成では厳しい状況があるので、ふるさと選手の選考が重要であるが、所属チームの状況を把握しながらの選考となる。 	
その他	・選手選考の意思決定としては、強化委員会で決定し協会理事会へ報告	
問合せ先	名称	佐賀県ラグビーフットボール協会
	担当者名	尾形 孝 則

29 佐賀県山岳・スポーツライミング連盟

項目	内 容	
選考方法	一次選考：4月上旬に県予選会を実施 国スポ参加資格選手より候補選手を男女上位2～3名を選出 種別によっては、一次選考で決定する場合もある。 二次選考：候補選手から男女2名を連盟より指名	
選考基準	強化練習、県予選会、リードユース大会(多久)、ボルダージュース大会(倉吉)、リハール大会、その他の大会等の成績を総合的に勘案し、本国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：県予選会及び選考会の内容を基に選考 二次選考：4月から6月までの期間に強化練習会を5回実施	
その他	参加者は佐賀県山岳・スポーツライミング連盟の会員であること。 また、令和6年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県山岳・スポーツライミング連盟
	担当者名	武末 良樹

30 佐賀県銃剣道連盟

項目	内 容	
選考方法	一次選考：少年男子・成年男子共に5名程度を強化選手として指名 二次選考：予選大会を実施し各4名国スポ候補選手として指名 最終選考：国スポ選手各3名を佐賀県銃剣道連盟より指名	
選考基準	強化練習、九州大会、全国大会の成績等、総合的に勘案し、国スポ及び九州ブロック大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	全国大会及び選考会の内容を基に選考	
その他	予選会の順位のみでの選考ではなく、各種大会の成績等を総合的に判断し選手選考の資とする。	
問合せ先	名称	佐賀県銃剣道事務局
	担当者名	河合 大地

31 佐賀県スケート連盟

項目	内 容	
選考方法	スピードスケート、ショートトラックの選手は、タイムの早い人から。フィギュアの選手は、級が上の選手から選ぶ。同じ級の場合は、大会申し込み提出期限の直前の試合で順位が上位の選手を選出する。	
選考基準	大会出場資格の級を所持していること。	
選考の内容	選考方法と同じ。	
問合せ先	名称	佐賀県スケート連盟
	担当者名	松尾和子

32 (一社) 佐賀県空手道連盟

項目	内 容	
選考方法	1次選考：当年の佐賀県選手権大会へ出場 但し、全国・国際大会出場及び怪我で欠場は考慮する 2次選考：県選手権大会及びJKF全国大会AKF/WKF国際大会等の成績 3次選考：九プロ及び全九州選手権大会 最終選考：選考会	
選考基準	強化練習及び各種大会での成績を考慮し、九プロ及び国スポで上位成績を狙える選手を強化部で選考する。	
選考の内容	選考基準 ポイント制 国際大会 (WKF・AKF主催) 出場10P 3位15P 2位20P 1位30P 国スポ 出場5P 3位10P 2位15P 1位20P 全日本選手権 出場5P 3位10P 2位15P 1位20P 全日本学生選手権 3位5P 2位10P 1位15P 佐賀県空手道選手権大会 3位2P 2位4P 1位5P 九州国スポ&全九州空手道選手権大会 出場2P 3位 5P 2位10P 1位15P 九州高校総体 出場2P 3位 5P 2位10P 1位15P インターハイ 出場5P 3位10P 2位15P 1位20P 最終選考：選考会 同点の者がいた場合、選考会を実施し勝者を代表に決する。	
その他	参加者は、佐賀県空手道連盟の会員であること。また、当該年度の会費を納めていること。	
問合せ先	名称	一般社団法人佐賀県空手道連盟
	担当者名	理事長 合原正典

33 佐賀県スキー連盟

項目	内 容	
選考方法	予選会を実施し、結果を基に練習会や合宿への参加状況等を考慮して常任理事会で決定し、理事会に報告する。	
選考基準	同上	
選考の内容	同上	
その他	①当該年度 佐賀県スキー連盟及びSAJ 登録者、または現住所・勤務地が佐賀県内にある者、出身中学・高校所在地が佐賀県内にある者。(高校生は競技者登録も必要とする) ②佐賀県内の中学校または高等学校に在籍する生徒であり、転校後6ヵ月以上経過している者。(ただし、一家転住による転校に関しては除外する) ③上記①②の2点において該当し、かつ県予選及び各全国大会出場に関し保護者の同意が得られている者。(中学生・高校生)	
問合せ先	名称	佐賀県スキー連盟事務局
	担当者名	立川 栄

34 佐賀県アーチェリー協会

項目	内 容	
選考方法	1次～4次選考において選考し、選考委員会において決定する	
選考基準	1次～4次選考会に参加した選手を選考対象とする	
選考の内容	1次 4月27日 70mR 144射 2次 5月18日 70mR 144射 3次 7月12日 70mR 144射 4次 7月13日 70mR 144射 上記3競技会の記録において最も得点が高かった選手上位3名を候補選手とし、選考委員会にて決定する。	
その他	参加者は佐賀県アーチェリー協会の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。	
問合せ先	名称	佐賀県アーチェリー協会
	担当者名	西川 定

35 佐賀県カヌー協会

項目	内 容	
選考方法	一次選考：男女各25名を強化選手として、強化部より指名 二次選考：男女各20名程度を国スポ候補選手として強化部より指名 最終選考：SHIGA国スポ九州ブロック選手男女17名を佐賀県カヌー協会より指名	
選考基準	強化練習合宿、国際大会、高校総体の成績等、総合的に勘案し、国民スポーツ大会で上位入賞を期待できる選手を選考	
選考の内容	一次選考：令和6、7年度各種大会及び選考会の内容を基に選考 二次選考：R7. 1月から6月までの期間に強化練習会を3回実施 最終選考：7月から8月までの期間に強化練習会を1回実施	
その他	参加者は佐賀県カヌー協会の会員であること。また、当該年度の協会登録費を完納していること。 ふるさと選手に関しては、他県協会会員であっても佐賀県選手として国スポに出場することを認める。	
問合せ先	名称	佐賀県カヌー協会事務局(神崎市役所事務局内)
	担当者名	事務局長 島 憲一

36 佐賀県ボウリング連盟

項目	内 容	
選考方法	<p>一次選考：県内予選会（3回）を行いトータル36Gで各種別上位8名ずつを選出。 2次選考：一次選考会、全九州選抜（2月）、全九州選手権（5月）のトータル51ゲームで上位成年男女4名ずつ、少年男女2名ずつを選出。 最終選考：国スポ選手成年男女4名（補欠1名）ずつ少年男女2名ずつを佐賀県ボウリング連盟より指名</p>	
選考基準	<p>強化練習、全九州、全国大会の成績等、総合的に勘案し、本国スポ上位入賞を期待できる選手を選考。</p>	
選考の内容	<p>一次選考：12月8日、1月12日、4月6日に選考会の内容を基に選考。 二次選考：2月22日～23日の全九州選抜、5月10日11日の全休選手権の内容を基に選考。 最終選考：5月25日に選考委員会を行い国スポ選手を決定。</p>	
その他	<p>参加者は佐賀県ボウリング連盟の会員であること。 また、当該年度の協会登録費を完納していること。</p>	
問合せ先	名称	佐賀県ボウリング連盟
	担当者名	前原健吾

37 佐賀県なぎなた連盟

項目	内 容	
選考方法	<p>（成年）一次予選：参加希望者による総当たりリーグ戦（5月31日） 二次予選：一次予選上位6名による総当たりリーグ戦 （7月6日） （少年）一次予選：高校総体（5月31日） 二次予選：高校総体上位4名となぎなた連盟より 推薦された4名以内の計8名以内による 総当たりリーグ戦（7月6日）</p>	
選考基準	<p>一次予選・二次予選の成績、前年度の全国大会の成績、強化練習等を総合的に勘案して国スポで上位入賞が期待できる選手を選考</p>	
選考の内容	<p>試合競技において 一次選考：選考会の内容を基に選考 二次選考：選考会の内容をもとに 選手候補3名、補欠候補2名を選出 最終選考：8月までの強化練習会を定期的実施</p>	
その他	<p>参加者は、佐賀県なぎなた連盟会員、または全日本学生なぎなた連盟の会員であること。</p>	
問合せ先	名称	佐賀県なぎなた連盟事務局
	担当者名	山本智子

38 佐賀県アイスホッケー連盟

項目	内容	
選考方法	①候補選手選定：9月開催の定期役員会（理事会）で監督1名、選手25名（ふるさと選手を含む）を前年度監督の助言で選定・承認。 ②九州プロ大会選手選定：10月上旬開催の県大会で選手の動きを確認後、監督が選手20名、予備登録5名を選定・登録。 ③冬季国スポ選手選定：12月中旬開催の臨時役員会（理事会）で監督1名、選手16名を選定・承認。	
選考基準	ふるさと選手を含めた社会人・学生合同の強化練習、県大会等、総合的に勘案し、選手を選考。	
選考の内容	①9月上旬開催の定期役員会（理事会）で監督1名、選手25名（ふるさと選手を含む）を前年度監督の助言で選定・承認。 ②10月上旬開催の県大会で選手の動きを確認後、監督が選手20名、予備登録5名を選定・登録。 ③12月中旬開催の臨時役員会（理事会）で本国スポ（冬季国スポ）の監督1名、選手16名を選定・承認。	
その他	参加者は日本アイスホッケー連盟への当該年度の登録を完了していること。	
問合せ先	名称	佐賀県アイスホッケー連盟
	担当者名	淵上 栄

39 佐賀県ゴルフ協会

項目	内容	
選考方法	成年男子・女子・少年男子共、選考会当日のグロス上位3名を選考する。（女子1名については、日本アマランキング9位の松永七海選手は選考会免除して選考する。）組み合わせ発表と同時にその旨告知している。	
選考基準	選考会競技の条件、行動規範、プレーのペースの方針により、選考会競技を開催する。	
選考の内容	5月6日選考会は、18Hストロークプレーとして選考する。成年男子は上位12名午後より18Hの36Hストロークプレーとして選考する。	
その他	毎年選考会を行っているが、特に問題なし。	
問合せ先	名称	佐賀県ゴルフ協会
	担当者名	江頭正次郎

40 佐賀県トライアスロン協会

項目	内 容	
選考方法	国スポ参加資格を満たしており国スポ出場の意志がある選手は、選考大会締め切りまでにエントリーし、基準を基に選考をおこなう。	
選考基準	1：当該年7月31日時点で、NTTジャパンランキング40位以上の選手 2：当該年天草宝島国際トライアスロン大会（エリート）で、佐賀県内上位選手	
選考の内容	選考の結果、上位の者を選考する。出場選手枠に満たない場合は、佐賀県強化指定選手・JTU認定記録会を参考に、佐賀県トライアスロン協会強化委員会で審議し決定する。	
その他	佐賀県代表選考大会までに当該年度JTU会員登録の手続きが完了している者	
問合せ先	名称	佐賀県トライアスロン協会
	担当者名	柿塚 晋也